

交換留学報告書

派遣先	
三重大学での所属学部・研究科	人文学部・法律経済学科
学年(出発時)	4年
大学名	ハイデルベルク大学
国	ドイツ
留学期間	2018年 9月 3 日 ~ 2019年 2 月 22 日
派遣先での身分	交換留学生

一日の生活スケジュール(通学時)	
	記入欄
8:00	
9:00	
10:00	授業
11:00	授業
12:00	授業
13:00	昼食
14:00	
15:00	授業
16:00	授業
17:00	
18:00	授業
19:00	授業
20:00	
21:00	帰宅、夕食
22:00	
23:00	課題
0:00	

履修科目				
科目名	時間数/週	履修単位	使用言語	授業内容(レポート、試験、授業形態等)
Language course	8時間/週	12	ドイツ語	出席、テスト、プレゼンテーション
Wortschatz A	1.5時間/週	4	ドイツ語	出席、テスト
Konversation	1.5時間/週	4	ドイツ語	プレゼンテーション、ディスカッション、レポート
Kreatives Schreiben 2	3時間/週	8	ドイツ語	出席、課題、テスト
Introduction to Public Choice Theory	3時間/週	-	英語	テスト未受験
American Politics and "Trump(ism)"	1.5時間/週	2	英語	講義(4単位以上単位が欲しければ口頭試験とレポート)
Preparatory Language Course	20時間/週	8	ドイツ語	出席、テスト、プレゼンテーション

大学のサポート	
チューターの有無	有り
チューターのサポート内容	寮までの案内、銀行口座開設、SIMカード購入、ビザ取得手続きなど
語学コースの有無	有り
コース名、料金、期間等	"Preparatory Language Course", "Language Course"、無料、9月、10月～2月

生活	
住居のタイプ	学生寮
住居の名前	Europahaus V
部屋タイプ	一人部屋
ルームメイト(国籍)	無し
室内設備	ベッド、キッチン、お風呂、勉強机、棚など
共用施設	洗濯室
インターネット設備	無し
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	バス、トラムで15～20分
アルバイトの有無	無し
アルバイトの内容	

渡航	
Visaの種類	学生ビザ
Visa申請先	Ausländerbehörde(外国人局)
Visa取得にかかった日数	1週間程度
Visa取得にかかった費用	56 €
Visa取得方法、提出書類等	必要書類: 入学許可証、住民登録証明書、健康保険申込書、 留学資金証明書、顔写真 をAusländerbehörde(外国人局)に提出。 書類は原本ではなく、すべてコピーしたもの。
留学先大学の最寄り空港までの経路	バス
渡航費用	約16万円
ピックアップサービスの有無	ハイデルベルク市内まであれば有り

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	有り
有る場合、その理由	4年次留学のため
就職活動開始時期	4年後期
帰国後の進路	就職

留学にかかった費用	
現地通貨＝日本円(約)	1€=約134円
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	海外旅行保険: 46,840円、ドイツの健康保険: 約90€/月
学費(教科書代や語学コース授業料等)	Student Service fee: 約74€、教科書代: 合計で約40€
宿舍費(月額)	218 €
光熱費(月額)	宿舍費に込み
食費(月額)	200～300€
その他	Semestertiket(定期券): 170€、携帯料金: 15€/月
留学期間中にかかった費用の合計	約50万円

感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)

結論から言いますと、半年でも留学できてほんとによかったと思います。苦しいときもありましたが、そこで過ごした日々がとて素晴らしい経験となっています。

半年という短い期間での留学だったため、留学中にしたいことは事前にしっかり決めていました。まず、ドイツ語を中級以上のレベルにすること、英語を上達させること、専門科目の授業を取ること、そして研究テーマにしていた働き方を調査することです。

ドイツ語に関しては1年次からずっと継続して勉強していたため、授業もきちんと理解できましたし、無事に中級クラス(B1)に入ることができました。英語に関しては英語開講の専門科目を取っていたこともあり、リスニングは大幅に伸びたと感じています。ただ、話す機会があまりなかったため、スピーキングは若干低下してしまいました。そのため、再び勉強し直そうと思います。働き方については、ありがたいことにハイデルベルク大学を卒業して働いている方や、現地採用になった日本人の方と会うことができました。そのため、その二人に労働条件や仕事の進め方について話を伺いました。また、受講していたディスカッションの授業では、ドイツの社会制度についてプレゼンテーションをすることになっていたため、私は労働をテーマにあげてディスカッションに挑みました。そこでのディスカッションを通じて、各国の働き方や労働に対する価値観を知ることができました。ここで得た知識は卒論に使うと思っています。

英会話(スピーキング)が少し低下してしまったのは残念でしたが、それ以外に関しては予想以上の収穫(日本やドイツだけでなく韓国や台湾などのアジア圏の友人ができた、国籍問わずグループディスカッションができるようになったなど)があったので、個人的にはとてもいい経験ができた感じています。

今後留学する人へのアドバイス

少しでも交換留学が気になったら、留学を希望する大学や出願日程について調べてみてください。思い立ったが吉日です。まだ帰国後の進路についてあまり考えていない、留年するかもしれないと出願をためらう人もいるかもしれませんが、早く行けば行くほど後のことはどうにかかります。留学中に進路のことを考えたり、軌道修正をしたりすることもできます。そのため、交換留学に興味が出てきた人はすぐに行動に移すことをお勧めします。

あと留学前の準備ですが、少しでもいいので語学の勉強は必ずしておいて下さい。英語でもドイツ語でもどちらでもいいです。到着してからは、まずオリエンテーションやビザの申請などの膨大な手続きが待っているため、コミュニケーション能力が皆無だと苦勞すると思います。実際、全く語学の勉強をしてこなかったために、手続きで苦勞をする学生を見かけました。準備をしすぎて損をすることは無いので、しっかり準備をして、あとは留學生活を思う存分楽しんでください。

報告書記入日

2019.3.6